

令和2年度 中央区立京橋築地小学校 自己評価報告書

学校名：中央区立京橋築地小学校 所在地：中央区築地2-13-1

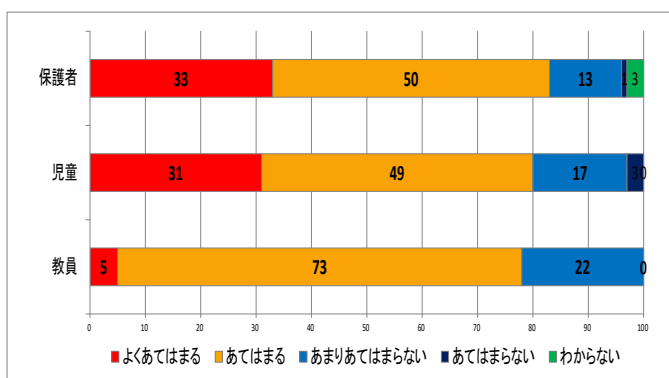
校長名：平山 尚彦

児童数：263名 学級数：10学級 教員数：22名 職員数：3名

1 重点目標の達成状況及び取組状況

※アンケート回答数 保護者：169 児童(4～6年)：122 教員：20

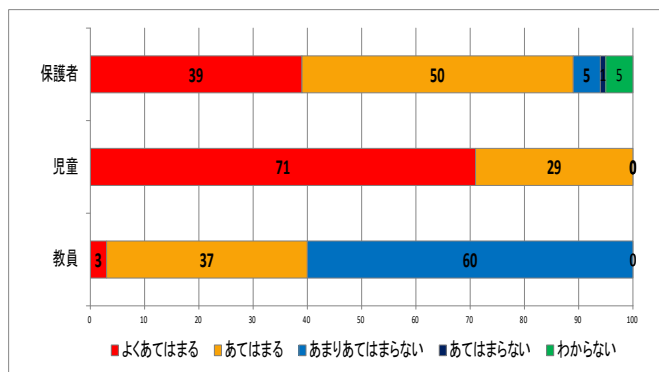
重点目標1：確かな学力を育てる



昨年度までは「言葉の力を育てる」という重点項目でしたが、言葉の力を育てるとともに学力の確かな定着と伸長を図ることを目指して授業及び個に応じた指導の充実に努め、重点項目1に位置づけました。アンケートの肯定的評価は保護者83%、児童80%でした。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業や教育活動の制限がある中で、授業時数の確保に努め、可能な方法を考えて授業を行ってまいりました。その点

を含めて評価していただいたと考えております。なお、例年多大なご協力をいただいている保護者の方による読み聞かせの会、高学年から低学年への児童間の読み聞かせ会について、本年度は残念ながら中止となりましたが、有意義な活動ですので、引き続き再開の際にはご協力をお願いいたします。また、本校では昨年度から「主体的に考え、表現する児童の育成」という研究テーマのもと算数の校内研究を行います。その中で本校の児童に対して、「見通しをもって、問題に取り組む」「自分の考えを、他者に説明することができる」ことを研究の柱にして学力向上に取り組みます。

重点目標2：互いに認め合い、思いやる人間関係を育てる

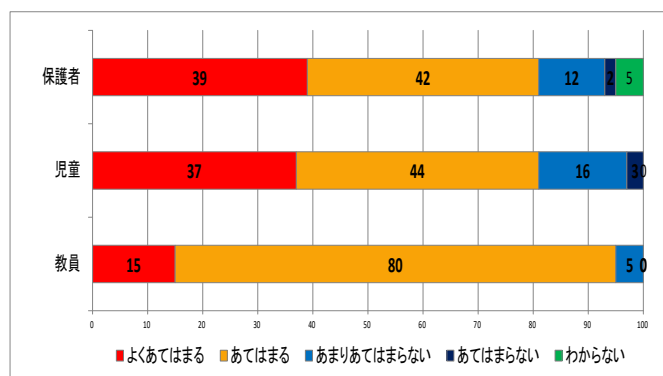


アンケートの重点目標の肯定的評価は保護者89%で昨年度とほぼ同様の結果でした。児童に関しては肯定的評価が100%となりました。今年度はコロナ禍により、縦割り班活動や保幼小の交流など、異年齢間の交流活動ができませんでした。その分クラスや学年による交流が濃くなり、クラスや学年の絆が強まったのかもしれません。個別の質問の「友だちと仲よく生活していますか」の項目ではほとんどの

児童が肯定的な評価をしていました。今年度は縦割り班活動がかなり制限されましたが、今後も、上級生が下級生を優しく世話する、下級生が上級生にあこがれと目標をもつという、本校のよき文化を保ち続ける努力をしていきます。今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら互いに認め合い、思いやる人間関係を育み、維持していくための日々のたゆまぬ取組の継続と改善をしてまいります。

重点目標3：丈夫な体とたくましい心を育てる

昨年度、保護者アンケートでは肯定的評価が91%でしたが、今年度は81%と10ポイント下がりました。理由としては館山臨海学校、運動会、持久走大会の体育的行事の中止が影響していると考えられます。



体育の授業に関しても身体的な接触を避ける等、厳しい条件の元でやらざるを得ませんでした。

水泳に関しては区内一律に中止になりましたが、縄跳びに関しては、個人でも取り組める種目のため、今年度もプロによる指導、縄跳び検定の期間の設定や縄跳びデーの実施など、意識的に取り組みを行いました。持久走に関しては、持久走大会は中止になりましたが、各学級で自分の目標を設定させて取り組みました。来年度については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながらできることを増やしていきます。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

保護者アンケートでは、「保護者や地域の方が積極的に教育活動にかかわれるようにしている」「コンピュータや図書館を十分活用している」の、全18項目中、2項目で肯定的評価が90%を下回り、他項目に比べ低い数値になりました。この2項目のうち、前者については、学校公開や各行事の中止など保護者や地域の関わりがほとんどなくなってしまったことが挙げられます。次年度は状況を踏まえながら実施方法の工夫を図ります。後者についてはコロナ禍において、さらに必要性が増しています。特にタブレット端末については、次年度初めに児童1人に1台、配置される予定です。授業やご家庭との連絡、情報交換のツールとして有効に活用できるようにしてまいります。

全般的に多くの方から肯定的な評価をいただきましたが、昨年度に比べると「十分達成している」の評価が下がっている項目もあります。今年度は教育活動が制限されたことも原因として考えられますが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえつつ工夫・改善して行きます。

児童アンケートでは、「あいさつは元気よくしていますか」「学校の約束を守っていますか」の項目が、昨年度に比べて平均6ポイント増えました。生活の状況がよい方向に進んでいます。今後も児童が落ち着いて達成感のある学校生活を送れるよう努めてまいります。

アンケートの自由記述欄では、多くの励ましや肯定的なご意見をいただいた一方で、新型コロナウイルス感染症拡大対策やICT機器の有効活用などについての改善意見もいただきました。いただいたご意見を参考に改善を図って行きます。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

3 今後の改善方策

アンケート結果を踏まえ、今後の改善のための方策として、以下のことに取り組んでいきます。

○確かな学力を育てるために

校内研究のテーマを、算数を中心に、主体的に考え、表現する力を伸ばすための授業の改善とし、全教員で取り組むほか、3年生以上の算数少人数指導や放課後の補習を行い、個に応じた指導の充実に努めます。また、全学年でタブレット端末等ICT機器を活用した授業を行い、児童に興味・関心をもたせ、基礎的基本的学力の確実な定着を図ります。

○互いに認め合い、思いやる人間関係を育むために

引き続き道徳の授業改善のほか、各教科等で児童同士が意見交換する場を意図的に取り入れ、認め合い、協力し合える関係の向上を図ります。また、全職員が情報共有と共通理解のもとで、保護者や関係機関と連携を強化しながら、いじめ等の未然防止と早期解決に努めます。

○丈夫な体とたくましい心を育てるために

新型コロナウイルス感染症拡大対策に加え、従来の猛暑対策や感染症の流行防止など、児童の健康と安全に十分配慮した指導計画の改善を行い、外部講師の活用など、授業や学校行事の指導内容と方法の充実に努め、児童の意欲を引き出し、体力と技能のさらなる向上を図ります。